

表 エレクトロニクス、精密エンジニアリング、エネルギー・化学、航空機、物流5業種の2025年までの産業変革マップ (ITM2025、注1)

業種	2025年の付加価値額目標	付加価値額の年間成長率	2025年までの就労者目標	主な取り組み
エレクトロニクス	500億ドル	7.6%	70,700人	半導体、無線周波 (RF) フィルター、ハードディスクメディア等高付加価値部門での製造活動の誘致の継続。「マイクロエレクトロニクスの未来 (注2)」イニシアチブを通じて競争力のある先端エレクトロニクス分野の官民研究エコシステムの構築
精密エンジニアリング	152億7,000万ドル	3.2%	95,200人	1,000万～5億ドルの売り上げ規模の企業を対象に、収益拡大を支援。特に半導体やメドテック、航空機など成長が期待できる分野の関連企業の国際化などを、EDBとエンタープライズ・シンガポール (ESG) が集中的に支援
エネルギー・化学	142億ドル	3.0%	27,900人	原油精製量を減らす、最低限の精製能力を維持。付加価値の高いスペシャリティーケミカルズ部門の製造やイノベーション活動を強化。グリーン分野の成長機会を獲得するためにもエネルギー転換を推進。2030年までにR&D、イノベーションセンターを新たに20カ所設置へ
航空機 (エアロスペース)	46億ドル	7.8%	22,000人	新型コロナ前の雇用レベルを復活へ。航空機の修理・整備・分解点検 (MRO) の一大拠点としての地位強化
物流	69億ドル	2.0%	87,200人	自動化設備を導入した最先端の倉庫施設の誘致。中小規模の事業者の4割が2025年までに少なくとも1つのデジタル技術の導入を目指す

(注1) ITM2025の取り組みの詳細はEDBの2022年10月18日付報道発表 (<https://www.edb.gov.sg/en/about-edb/media-releases-publications/new-growth-strategies-to-drive-advanced-manufacturing-across-five-sectors-in-singapore.html>) 参照。
(注2) 同イニシアチブでは、異種統合 (Heterogenous Integration)、化合物半導体、ミリ波技術、センサー・アクチュエータ、エッジAIの5つが優先研究部門となる。
(出所) シンガポール経済開発庁 (EDB)